

第55回 まちづくり研究セミナー

建築展 vol. 27 @門司港

日韓合同学生ワークショップ 2025. 10. 25-26

第24回建築塾 2025. 10. 24-26

TIME SCAPE



『TIME SCAPE』

門司港は明治時代に、小さな漁村から特別輸出港へと大きく発展しました。

大陸との交易により栄え、多くの企業の建造物が建てられ、料亭や花街が賑わい、芝居小屋が立ち並ぶなど街は人々で溢れかえりました。しかしながら、昭和に入り閑門トンネルの誕生により新しい交通網から外れたことや貿易の衰退などから、街は孤立化し経済成長から取り残されるようになりました。現在では門司港には、歴史的な建造物や港をはじめ、昭和の街並みや坂の地形など、街のアイデンティティを形作る特徴的なものが残る一方、他の地方都市と同様に人口減少や高齢化、生活インフラの老朽化などの問題を抱えています。

本課題では、時間をテーマとして建築・都市空間を考えてみたいと思います。

街並みは、その土地の風土の中で人間が集まって暮らし、時間の積み重ねの中で作り上げられます。

地形や気候、制度や建築、文化や営みなど様々なものが時間の変化の中に現れ、街の風景をかたちづくります。

時間の流れ・時代の流れとともに変容しながら持続するような建築と都市空間を考え、未来の門司港の街の風景を構想します。

| 日韓合同学生ワークショップ

課題

門司港の街の時間の積み重なりを踏まえた上で、地域に必要なプログラムを構想し、街の未来をつくる建築・都市空間（街並み）のあり方を提案してください。

敷地

門司中央市場（周辺も含む）

門司中央市場は約100年ほど前に開設された公設市場です。門司港の生活を支える物や情報の交換の場所として栄えましたが、現在では店舗数が減少してしまい、多くがシャッターを閉ざしている状態です。しかしながら市場は三方を山に囲まれ、西側に海をもつ門司港エリアの中央に位置し、様々な事物の中核点となりうる可能性を持った場所です。どのような活用、計画が門司港の街にとって有効であるか考えてみてください。

プロセス

1 街を読み解く（リサーチ、物語の構築）

街の歴史や都市構造、文化、営みなどを調査・分析し、地域の時間と連続するような物語を構築してください。

2 プログラム

リサーチから、この場所にふさわしいプログラムを考えしてください。閉鎖的なものではなく、地域に開かれたものとしてください。

3 時間を内包した建築・都市空間（空間の提案）

歴史の継承とこれからの未来をつくるような建築・都市空間を考えてください。計画する建築単体だけではなく、提案によって周辺がどのように変わるかも考えてください。

* 対象敷地の既存建物は取り壊しても、改修しても可とします。周辺もまとめて提案しても可とします。

成果品

物語を表現するドローイング、プログラムを表現するダイアグラム、周辺との関係がわかる模型（1/500程度）、建築空間がわかる模型（1/50程度）、その他必要なもの。

日程：

| 日韓合同学生ワークショップ

8/16(土) 10:00-12:30

課題説明会+ショートレクチャー

@ZOOM

10/25(土) 13:00-18:30

講演会+ワークショップ

@旧大連航路上屋

10/26(日) 9:45-17:00

最終講評会

| 第24回 建築塾

8/16(土) 10:00-12:30

課題説明会+ショートレクチャー

@ZOOM

10/24(土) 13:00-18:00

開会式+ワークショップ

@旧大連航路上屋

10/25(土) 13:00-18:30

講演会+ワークショップ

@旧大連航路上屋

10/26(日) 9:45-17:00

最終講評会

| 第24回 建築塾

課題

門司港の街の固有性はどのような要素から成り立っているのか？街にある時間の積み重なりを踏まえた上で、ある単位ごとにリサーチをし、それを分類して分析したり、表現をしてください。

敷地

門司港エリア全体

門司港エリアは漁村・塩田だった場所が突如として日本を代表する港湾都市となり、戦火による破壊と復興、産業・交通構造の転換による衰退、歴史的街並みを利用した観光地化という日本の近現代史といえるような変遷をたった130年の間に経験している都市です。門司港エリアのこれからを考えることは、日本の地方都市に対しても有効な手立てになります。時代と共に様相を変えてきたこの地域がどのような可能性を持っているのか、それによってどのような未来を描くことができるか考えてみてください。

プロセス

1 門司港を読み解く（リサーチ、物語の構築）

ある単位に着目して、門司港の街について調べてください。都市は様々な要素が集まり、時間の中で重なり合い、街の個性や空気感として目の前に現れています。都市の要素を単位ごとに可視化し、門司港の特性や可能性、課題も明らかにし、アイデンティティとなりうるものを探って下さい。その時、時間という観点で掘り下げることで、地形や交通など物理的に目に見えるものや、データとして公開されているものだけでなく、街にある空気感や質感が可視化することができるかもしれません。また、時間という観点から、今街にある様々なものの歴史や起源を調べることで、その要素は残していくべきものか、更新していくべきものなのか、考えられるかもしれません。過去と現在を接続し、未来への方向性を考える。原動力を探し出して下さい。

* 単位は複数選んでも良い。

2 門司港の風景を描写する

リサーチにより浮き彫りにした要素を用いて、門司港エリアの可能性や、未来への方向性を表現してください。データとしてまとめるだけではなく、スケッチや写真、コラージュ、立体模型表現など、自由に新しい風景を描写するような表現を模索して下さい。

講師：



2024年度JIA新人賞受賞

玉田脇本建築設計事務所
MAKOTO & WAKIMOTO ARCHITECTS

玉田 誠
MAKOTO TAMADA
脇本 夏子
NATSUKO WAKIMOTO

参加予定校：

- ・北九州市立大学
- ・九州女子大学
- ・東邦大学
- ・金慶大学
- ・九州工業大学
- ・近畿大学（福岡キャンパス）
- ・東西大学
- ・慶星大学
- ・九州産業大学
- ・日本文理大学
- ・釜山大学
- ・東義大学

【主催】まちづくり研究セミナー事務局
（公社）日本建築家協会九州支部北福岡地域会
【共催】北九州市
【協賛】（公財）北九州観光コンベンション協会
【問い合わせ】info@j-akita-fukuoka.org

九州支部
北福岡地域会員

浅田 典生
安東 崇夫
安東 秀夫
充 哲夫
石垣 直登
石川 雅衛
石塚 宏
瓜生 光晴
衛藤 小原
小原 史衛
金子 英造
久保 直一
久保 隆一
熊谷 幸一郎
後藤 友哉
藤佐 一
佐藤 開治
塙釜 真紀
高濱 直人
戸村 和久
戸村 一樹
豊川 裕子
永澤 正哉
中條 雅文
野田 幸三郎
服巻 良樹
福田 展淳
福本 明広
藤本 孝行
吉森 弘
松島 逸人
三迫 靖史
満井 輝吉
白川 直行
杉野 友紀
鈴木 基正
平 憲治
高島 千年
高瀬 松之助
高橋 雅彦

（公社）日本建築家協会
九州支部北福岡地域会
JIA 国際支援活動支部助成事業

